



私たちのキーワード

本人認証の「バックグラウンド認証[®]」が
セキュリティの面倒を一挙に解決する

株式会社 AnchorZ

デバイス利用者が登録者本人かどうかを 認証し続け、“なりすまし”の脅威を防ぐ

テーマ

世界初、 自社独自の「DZ Security」による 「バックグラウンド認証[®]」サービスの提供

事業内容

設立は2009年4月。2016年に「DZ Security」のファイル分散部特許を取得。2017年に「DZ Security」のバックグラウンド認証部特許を取得。2020年には国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構のAIチップ開発加速のためのイノベーション推進事業に「DZ Security」が採択されました。バックグラウンド認証の技術をコアとした新たなプラットフォームサービスの展開を推進しています。



代表取締役：徳山 真旭さん

まったく新しい発想の 認証技術の開発にチャレンジ

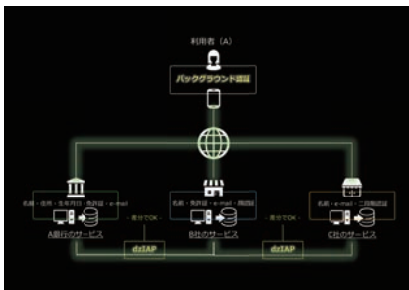
デバイスやサービスの本人認証は、IDとパスワードを入力してログインするのが当たり前になっています。しかしそれではログイン後も本人が利用しているかどうかはわかりません。不用意な貸与や“なりすまし”による第三者利用の可能性もあります。そこでアンカーズは、まったく新しい発想の認証技術の開発にチャレンジしました。スマートフォン利用時に自然に習得できる顔や声の生体情報、さらにはデバイス利用時の本人のクセを判断する「ふるまい情報」など、複数の要素を捉え、本人認証が随時できる「DZ Security」によるバックグラウンド認証[®]を実現しました。

何ができてどう便利かを 見える化するために

「私たちが取り組んだのは目に見えない技術です。この有効性を実現するためには自社でソリューションまで作り、具体的なサービスとして『何ができて、どう便利なのか』を可視化して提示する必要があります」と話すのは代表取締役の徳山さん。そこで、かかるコストを少しでも軽くするために本事業の支援を活用しました。コロナ禍という状況で、コミュニケーションの取り方や情報の発信、サービスの告知やプレゼンテーションなどオンラインに頼らざるを得なかったものの、目標の具現化まで特段の苦労もなくスムーズに進んだと徳山代表は振り返ります。

確かなセキュリティで 全てのユーザーが守られる世界へ

誰にでも使えて本人確認が強固な銀行デモアプリも完成。また、スマートフォンで本人認証ができた場合のみWindowsへの自動サインインが行われ、認証がNGの場合はWindowsが自動ロックされる機能も実現。さらに、イベントなどのチケットが正規か不正かチェックできる「チケット入場認識システム」も実現しました。「自社の技術をエンドユーザー様にわかりやすく伝えたことでビジネスにつながったと思います。この技術を発展させ、認証をしなくても確かなセキュリティで全てのユーザーが守られる世界を実現したいですね」と徳山さんはさらなる可能性に挑んでいます。



秘密情報開示「DZ Intelligent Access Platform」を構築。誰にでも使える強固な本人確認基盤による銀行デモアプリが完成しました。



スマートデバイス制御「DZ Pass」により、スマートフォンで本人認証が出来た場合のみWindowsへの自動サインインが行われ、認証がNGの場合はWindowsが自動ロックされます。



デジタルバリューエクステンション「チケット入場認識システム」の構築により、正規ユーザー、不正ユーザーの確認を可能にしました。

会社概要

■ 所在地：東京都台東区浅草橋三丁目22番9号 第一野村ビル2F ■ TEL：03-5829-6440
■ URL：https://anchorz.co.jp ■ 代表取締役：徳山 真旭 ■ 設立：2009年4月 ■ 資本金：3,000万円